

地域公共交通確保維持改善事業・事業評価(計画推進に係る事業)

平成 年 月 日

協議会名: 豊明市地域公共交通活性化協議会

①事業の結果概要	②事業実施の適切性	③事業の今後の改善点 (特記事項含む)
【事業内容及び結果概要を記載】	A ・ B ・ C 評価	【事業の今後の改善点として、取組内容・関係者それぞれが果たすべき役割等を記載。】
<p>【地域におけるワークショップの開催】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・中学校区(3中学校)単位でワークショップを開催。 ・地域公共交通網形成計画の説明やひまわりバスの利用促進策の検討などを実施。 ・ひまわりバスを含め、公共交通に関する情報発信の弱さを確認。意見ではわかりやすいバスマップを求める声が多く聞かれた。 ・ワークショップを通して、現路線が抱える課題や地域の利用特性、目的地のニーズ等を把握。 <p>※本事業は、交付決定前の実施となったため、計画推進事業の対象外</p>	A 計画どおり適切に事業が実施されている。	<ul style="list-style-type: none"> ・これまで公共交通を利用してこなかった市民に対しては、利用促進よりもまずは情報提供が重要 ・意見の多かったバスマップについては、ひまわりバスの路線再編にあわせ、市内総合交通マップとして作成。 ・また、広報記事や市ホームページを活用し、公共交通に関する情報を提供。 ・ワークショップを通して得られた現路線に関する課題等は、ひまわりバス路線再編の参考とした。
<p>【公共交通マップの作成】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・分かりやすく見やすいマップ作成のため、市民と一緒に考えるワークショップを開催。 ・自分たちがイメージするマップをパズル方式で組み立て、必要な情報を取捨選択していく独自の形式で実施。 ・マップという限られた枠の中で、本当に必要な情報は何かを利用者目線で考えてもらうことができた。 ・パズル方式は自分の考えがすぐ形になり参加者から好評。 	A 計画どおり適切に事業が実施されている。	<ul style="list-style-type: none"> ・完成したマップは、平成31年2月に市内全世帯へ配布し、商業施設や交通結節点となる主要施設及び公共施設にも設置する。 ・単に配布しただけではなく、このマップをいかに活用して公共交通を利用してもらうかを考える必要がある。 ・教育、産業振興、高齢者福祉などの各部局と連携し、マップを活用したツアーイベントを開催予定。 ・地域の利用ニーズに合わせた地域時刻表作成の支援を行う。

(別添1-2)

事業実施と生活交通確保維持改善計画との関連について

平成 年 月 日

協議会名:	豊明市地域公共交通活性化協議会
評価対象事業名:	地域公共交通調査事業(計画推進事業)
地域の交通の目指す姿 (事業実施の目的・必要性)	<p>本市は、愛知県のほぼ中央部に位置し、人口は約69,000人、面積は23.22km²である。</p> <p>本市の公共交通は、名古屋鉄道名古屋本線が東西に横断しており、豊明、前後、中京競馬場前の3駅を有している。また、前後駅を基点として、名鉄バスが3系統運行している。また、市営のコミュニティバス(ひまわりバス)が、名鉄バスを保管する形で市内の移動の足を確保している。</p> <p>公共交通は、市民の移動に必要な手段の確保だけでなく、まちづくりや観光、健康づくりなどといった様々な分野において重要な役割を担っており、公共交通がいつまでも身近に有り続け、本市が住みやすく活力に満ちたものとするため、平成29年8月に豊明市地域公共交通網形成計画を策定。</p> <p>計画では、鉄道、路線バス、コミュニティバス及びタクシー等の多様な公共交通が相互に連携し、市民の市内外の日常生活行動や地域の移動ニーズに応じた公共交通ネットワークを形成することで、「公共交通が人と人をつなぐしあわせのまち」をめざす交通将来像に掲げている。</p>